

緑が丘

学校教育目標
自ら考え
正しい行動のできる
心豊かな生徒の育成

緑が丘中学校
学校通信 NO.3
2020年6月1日

「今こそ、自ら考え・判断し・行動する力を」

校長 野口博史

3か月に及ぶ長い休校期間を経て、分散登校ではありますが、ようやく学校再開の日を迎えることができました。休校期間中は「緑中オンライン教室」の活用をはじめとし、学校の教育活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございました。

学校を再開するにあたり、学習保障はもとより、各種行事の検討もしていかなければなりません。何よりはまず感染対策の徹底が重要です。具体的には、次の3つの事項を中心に進めてまいります。

1つ目は環境整備です。右の写真をご覧ください。廊下の密を避けるため、テープで中央線を設置しました。同様に、洗面所にも並び方を表示しています。また、感染症対策として衛生面での向上を図るため、トイレに専用スリッパを導入しました。



2つ目は個人が留意すべきルールの徹底です。マスクの着用や咳エチケット、給食における配膳方法のきまりなど、一人一人が意識を高く持てるよう、生徒たちには伝えていきたいと考えています。

最後に、一番大切にしたいことは、自ら考え、判断し、行動する力をつけることです。これからは「コロナウィルスとの共存の社会になっていく」ということがいわれています。「密閉・密集・密接」を避けるという基本的な考え方をもとにして、具体的な場面でどう行動すればよいのかを自分で判断する力が必要になってきます。本校では、昨年からの風紀規定の見直しや夏休みの課題の選択など、ただ決められたことをやるというのではなく、自分たちの生活をより良くするために、自分で考え、判断し、行動するとはどういうことかを生徒たちに投げかけてきました。みんなが不安を感じる今こそ、その力を発揮してもらいたいと強く願います。

今年度は体育祭や文化祭、トライやる・ウィーク等の多くの行事の中止が決定されました。部活動についても、県大会、東播大会の中止決定を受け、市内大会の実施についても検討中です。修学旅行（10月中旬に信州方面を考慮中）実施の可否については9月に入ってから判断となる見込みです。保護者の皆様には、色々ご心配をおかけしますが、生徒たちの健康、安全を第一に考え、学校における感染拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、段階的に教育活動を行うための措置ですので、ご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。